

## 単元名 つづけよう③

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 身近なことを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。  
 (2) 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。  
 (3) 詩の内容を捉えて、音読を楽しんだり、言葉遊びを楽しんだりしようとする。

## 標準的な展開例

01010301\_001

【教材名】 こえに 出して よもう／ききたいな、ともだちの はなし／たのしいな、ことばあそび  
 (下 P. 68～P. 73)

【準備等】 「のはらうた」などの詩集、拡大した挿絵

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 作者の気持ちを想像しながら詩を音読する。  ★作者になりきって、詩を読もう。  ○題名や挿絵を基に、詩の内容を想像する。</p> <p>○音読する。</p> <p>○かたつむりやこぐまの思いを想像して話し合う。</p> <p>○話し合ったことを基に、音読の仕方を工夫して読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を開かず、拡大した挿絵を見せるとよい。</li> <li>繰り返し音読できるよう、分担を変えて音読させるとよい。</li> <li>詩を読んで感じたことや気付いたことなどを自由に発言させる。</li> <li>【評】 思いを想像して話し合う活動を通して、場面の様子など内容の大体を捉える「思考・判断・表現」を評価する</li> <li>話しかけるように読んだり、動作化して読んだりして、いろいろな読み方を楽しめるようにする。</li> <li>【評】 詩を音読する活動を通して、語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する「知識・技能」を評価する。</li> </ul>
<p>2 お気に入りの詩を音読する。  ○お気に入りの詩を選び、音読の仕方を考える。</p> <p>○発表する。</p> <p>○よかったところを交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスの実態に応じてグループの発表でもよい。</li> <li>教科書 (P. 69) の「この本、よもう」の「のはらうた I」の詩集などを用意しておくとうい。</li> <li>よかったところを交流することをあらかじめ伝えるなど、聞く観点を示しておく。</li> <li>【評】 詩の音読発表を通して、音読を楽しもうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>実態に応じて、伝え方の話形を掲示するとよい。</li> </ul>
<p>3～4 好きな本を紹介する。  ★好きなお話を伝え合おう。  ○教師のお手本を聞き、学習の見通しをもつ。</p> <p>○紹介する本を選ぶ。</p> <p>○教科書 (P. 70～71) を参考に、発表の仕方と質問の仕方答え方を知る。</p> <p>○グループで本を紹介し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>題名、登場人物、おもしろいところを紹介する。</li> <li>今後も読めるように、紹介する本は学校図書館から探すとよい。</li> <li>だれが、どこで、いつ、どうしてなど質問の例を板書しておく。</li> <li>【評】 発表の仕方を考える活動を通して、伝え合うために必要な事柄を選ぶ「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>グループは、3～5人にするとうい。</li> <li>実際に本を持たせて紹介させてもよい。</li> <li>【評】 本を紹介し合う活動を通して、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>【評】 本の紹介を通して、友達の話の聞き、質問や感想を述べようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>【評】 本を紹介する活動を通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く「知識・技能」を評価する。</li> </ul>
<p>5 言葉遊びの仕組みを理解する。  ★言葉遊びをしよう。  ○教科書 (P. 72) を見て、言葉遊びの仕方を理解し、ノートに書く。  ○教科書 (P. 73) の「へんしんさせましょう。」をノート</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「上に」「あいだに」「下に」の意味を確認する。</li> <li>必要に応じて、挿絵の言葉を確認する。</li> <li>教科書 (P. 72) を参考にして書かせる。</li> <li>【評】 言葉集めをする活動を通して、身近なこ</li> </ul>

<p>に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書 (P. 73) の「こんな へんしんにも ちょうせんして みましよう。」を見て，二字増やしたり濁点を付けたたりして変身する言葉を集める。</li> </ul> <p>6 問題を作って出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分で言葉遊びのルールを決め，問題を作る。</li> <li>○問題を出し合う。</li> </ul>	<p>とを表す語句の量を増やし，語彙を豊かにする「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初に問題の例を教師が示すとよい。</li> </ul> <p>【評】問題を出し合う活動を通して，言葉遊びを楽しもうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>
--	--

【 備 考 】